

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本マイクロサージャリー学会誌	血管柄付き腓骨皮弁による下顎骨再建の検討	大儀和彦	口腔外科
日本マイクロサージャリー学会誌	下顎再建	桐田忠昭	口腔外科
日本口腔診断学会雑誌	外歯瘻の臨床的検討	松末友美子	口腔外科
歯科薬物療法	Resistant recurrent aphthous stomatitis in an AIDS patient	Morimoto Y	口腔外科
The Japanese Biochemical Society	In vitro Mineralization by Mesenchymal Stem Cells Cultured on Titanium Scaffolds	Maeda M	口腔外科
日本顎顔面インプラント学会誌	共鳴振動周波数解析を用いた上顎骨造成部位におけるインプラント安定性の評価	藤本昌紀	口腔外科
J Oral Pathol Med	An association between the MICA-A5.1 allele and an increased susceptibility to oral squamous cell carcinoma in Japanese patients	Tamaki S,	口腔外科
日本口腔科学会雑誌	口腔水分計を用いた口腔粘膜湿潤度に関する臨床的検討	玉置盛浩	口腔外科
日本口腔外科学会雑誌	抗凝固療法施行患者における抜歯に関する臨床的検討	玉置盛浩	口腔外科
Thrombosis and Haemostasis	Successful <i>in vivo</i> propagation of factor IX-producing hepatocytes in mice: Potential for cell based therapy in haemophilia B	Kohei Tatsumi et al	小児科
Blood	Functional imagine of shear-dependent activity of ADAMTS13 in regulating mural thrombus growth under whole blood flow conditions	Yasuaki Shida et al	小児科
The Journal of Biological Chemistry	Mechanisms of Plasmin-catalyzed Inactivation of Factor VIII A CRUCIAL ROLE FOR PROTEOLYTIC CLEAVAGE AT Arg ³³⁶ RESPONSIBLE FOR PLASMIN-CATALYZED FACTOR VIII INACTIVATION*	Keiji Nogami et al	小児科
Japanese Journal of Ophthalmology Vol.51 No.2 Page153-155	Case report of multiple sclerosis in which visual function was evaluated using multifocal visual evoked potentials.	E. Yukawa, Y-J Kim, T. Ueda, Y. Hara	眼科
日本の眼科 78巻5号 Page627-628	屈折は生涯変化する	原嘉昭	眼科
The Journal of Physical Chemistry B Vol.111 No.29 Page8411- 8418	Dynamic Light Scattering Study of Salt Effect on Phase Behavior of Pig Vitreous Body and Its Microscopic Implication.	M. Annaka, M. Okamoto, T. Matsuura, Y. Hara, S. Sasaki	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
あたらしい眼科 24巻7号 Page965-970	脳室腹腔シャント術後に多局所網膜電図および多局所視覚誘発電図測定を行った特発性頭蓋内圧亢進症の1例	湯川英一, 金永進, 新田進人, 原嘉昭	眼科
Japanese Journal of Ophthalmology Vol.51 No.4 Page301-302	A case of juvenile limbal xanthogranuloma.	T. Nishi, Y. Nawa, N. Nitta, Y. Hara	眼科
臨床眼科 61巻9号 Page1755-1759	各象限で異なった多局所視覚誘発電位を示した視神経炎の1例	湯川英一, 太田麻美子, 上田哲生, 新田進人, 原嘉昭	眼科
臨床眼科 61巻9号 Page1695-1698	透析前後の眼球計測値の変化	大萩豊, 松浦豊明, 岡本全弘, 榊田浩三, 原嘉昭	眼科
臨床眼科 61巻10号 Page1829-1834	1歳以下の両眼先天白内障に眼内レンズを挿入した5例	名和良晃, 丸岡真治, 上田哲生, 小島正嗣, 原嘉昭	眼科
あたらしい眼科 25巻1号 Page119-122	睡眠不足による疲労時の調節機能への影響	榊田浩三, 上田哲生, 原嘉昭, 魚里博	眼科
視覚の科学 29巻1号 Page32-35	Laser in situ Keratomileusis術前後の各種検査法による屈折値の比較検討	川尾美樹, 名和良晃, 上田哲生, 榊田浩三, 原嘉昭, 魚里博	眼科
Pathobiology	DNA hypermethylation status of multiple genes in papillary thyroid carcinomas.	Yane K.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学
American Journal of Pathology	c-Jun NH ₂ terminal kinase activation and decreased expression of mitogen-activated protein kinase phosphatase-1 play important roles in invasion and angiogenesis of urothelial carcinomas.	Ota I.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学
Cancer Res	Gene expression analysis of preinvasive and invasive cervical squamous cell carcinomas identifies <i>HOXC10</i> as a key mediator of invasion.	Ota I.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学
日本皮膚科学会誌	基底細胞母斑症候群に生じたinfundibulocystic basal cell carcinomaの1例	福本隆也	皮膚科・形成外科
皮膚の科学	甘草誘発性偽アルドステロン症をきたしたアトピー性皮膚炎の1例	井本恭子	皮膚科・形成外科
皮膚の科学	間質性肺炎を伴ったamyopathic dermatomstosisの1例	北村華奈	皮膚科・形成外科
Cancer	A role for connexin 26 in metastasis of human malignant melanoma: Communication between melanoma and endothelial cells via connexin 26	Saito-Katsuragi M	皮膚科・形成外科
アレルギーの臨床	蚊アレルギー(蚊刺過敏症)	浅田秀夫	皮膚科・形成外科
皮膚の科学	全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群に合併した尋常性乾癬の一例	飯田秀之	皮膚科・形成外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本皮膚科学会誌	EBウイルスと皮膚疾患	浅田秀夫	皮膚科・形成外科
奈透析会誌	奈良県における慢性透析患者の現況－2005年末の統計的観察－	吉田克法	泌尿器科・透析部
腎泌尿防医誌	健常人を対象にした大豆蛋白摂取量と血中・尿中濃度の世代間調査	田中雅博	泌尿器科
Acta Urol Jpn	Prostatic volume and volume-adjusted prostate-specific antigen as predictive parameters for T1c prostate cancer	N Tanaka	泌尿器科
J Reproductive Systems	Endocrine response to a single injection of goserelin 3.6mg or leuprolide 3.75 mg in men with prostate cancer	N Tanaka	泌尿器科
J Reproductive Systems	Endocrine response to a single injection of goserelin 3.6 mg or leuprolide 3.75 mg in men with prostate cancer.	N Tanaka	泌尿器科
Acta Urol Jpn	Prostatic volume and volume-adjusted prostate-specific antigen as predictive parameters for T1c prostate cancer	N Tanaka	泌尿器科
Int J Urol	Tissue levels of pyrimidine nucleoside phosphorylase activity in human and rodent bladder cancer and normal bladder tissue	K Fujimoto	泌尿器科
J Microwave Surg	前立腺肥大症に対するマイクロ波による経直腸的前立腺超音波ガイド下経会陰的前立腺焼灼術の検討	平山暁秀	泌尿器科
Biochem Biophys Res Commun	Sensitive detection of FGFR3 mutations in bladder cancer and urine sediments by peptide nucleic acid-mediated real-time PCR clamping	N Miyake	泌尿器科
日泌会誌	前立腺癌病期診断における画像検査の有用性の検討－不要なCT、骨シンチグラフィを省略する指標の作成－	松村善昭	泌尿器科
Pathobiol	Anti-tumor effects of liposome-encapsulated titanium dioxide in nude mice	Y Chihara	泌尿器科
腎移植・血管外科	奈良県立医科大学における腎移植後死亡症例の検討	米田龍生	泌尿器科
Audio-Visual Journal of JUA	光力学的診断システムを用いた蛍光膀胱鏡下TURBT	藤本清秀	泌尿器科
J. Endovasc Ther	Deterioration of Consumptive Coagulopathy with Type II Endoleak Following Endovascular Repair for Abdominal Aortic Aneurysm Associated with Liver Cirrhosis	Wataru Higashiura	放射線科
JVIR	Predictive Factors, Morphologic Effects, and Proposed treatment Paradigm for Type II Endoleaks after repair of Infrarenal Abdominal Aortic Aneurysms	Wataru Higashiura	放射線科

小計_16

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
AJR	Arterial Infusion of 5-Fluorouracil Combined with Concurrent Radiotherapy for Unresectable Pancreatic Cancer:Results from a Pilot Study	Toshihiro Tanaka	放射線科
Ann Clin Biochem	Surveyor™ nuclease-based detection of p53 gene mutations in hematological malignancy	Mitani N	中央臨床検査部
移植	生体腎移植ドナーの適応 ー病腎移植問題を含むー	吉田克法	透析部
成人病と生活習慣病	医療従事者が考える移植と人工臓器	吉田克法	透析部

小計 4

合計 83

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 榊 壽右
管理担当者氏名	医療サービス課長 南浦 健、 病院管理課長 上浦 豊

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		外来カルテ庫、入院カルテ庫、薬剤部、中央放射線部、電子カルテ、	個々の患者の諸記録は、カルテとともに整理し一括保管。 エックス線写真は、中央放射線部で一括保管。 諸記録、エックス線写真とも、あわせて電子カルテにも保存。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課 病院管理課	
	高度の医療の提供の実績	医療サービス課 各診療部	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医療サービス課 各診療部	
	高度の医療の研修の実績	各診療部	
	閲覧実績	医療サービス課 病院管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課 薬剤部	
確保規則の第9条の2及び第11条各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	様式13-2 のとおり	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	様式13-2 のとおり	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	様式13-2 のとおり	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	様式13-2 のとおり	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	様式13-2 のとおり	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	様式13-2 のとおり	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	様式13-2 のとおり	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	様式13-2 のとおり	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医療サービス課長 南浦 健
閲覧担当者氏名	医療サービス課課長補佐 西村 和也、病院管理課課長補佐 北村好伸
閲覧の求めに応じる場所	医療サービス課事務室、病院管理課事務室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医 師	延	件
	歯 科 医 師	延	件
	国	延	件
	地方公共団体	延	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	69.7%	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	15,409人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	9,535人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	2,574人	
	D: 初診の患者の数	29,955人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> (2 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> (1 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 無
・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (3) 名 ・ 活動の主な内容： 別添のとおり	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="radio"/> ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 無
・ 指針の主な内容：別添のとおり	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容：別添のとおり	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 7 回
・ 研修の主な内容：別添のとおり	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/> ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 別添のとおり	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	最低年2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：「眠剤服用による転倒・転落」9/25 「麻薬の取扱いについて」2/27 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有・無) 手順書は平成19年7月に作成し20年7月に改訂し医療安全管理委員会の承認を得た。電子カルテで閲覧可とした。 ・ 業務の主な内容： 薬剤師が各科外来・病棟等を巡回し手順書に記載されている項目が遵守できているかチェックリストにより確認・記録している。 薬剤部内についても、チェックリストに基づき確認・記録している。 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) 製薬会社・インターネット等により収集し、電子カルテにより情報を周知している。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 薬剤部：医薬品の調剤時取り違いを防止するため「取り揃えリスト」を導入し使用の徹底を強化した。さらにハイリスク薬等については携帯端末(PDA)を導入した。 病院：①薬剤の投与患者間違いを防止するため「患者誤認防止ポスター」を作成したり患者認証を徹底した。 ②先発医薬品から後発医薬品に切り替える時、危険性の高いものについては特に注意が必要なものとして周知するようにした(例：エフオーワイ注からレミナロン注) 周知徹底にはニュースレターを利用している。 	